

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検中項目【1-1】	理念・目的・育成人材像は定められているか
------------	----------------------

本校では、校訓として、品位(品性豊かな人格)、誠意(誠をもって責任ある行動)、および技術(世界に通用する立派な技術をもつ)の3つの項目を取り上げ、未来に羽ばたくファッション業界で活躍できる有能な人材の育成に最高の努力を重ねる。技術(日本が古来から培ってきた崇高な匠の技)教育復活への取り組みを行い、学生達が習得したことに対して自信をもたせていきたい。

社会のニーズに応えるため、常に産業界とのコンタクトを密にしながら、充実したカリキュラムを編成し、経験豊富な教師陣と最新の設備をもって教育を行う

点検中項目【1-2】	学校の特色は何か
------------	----------

創立60周年の歴史を持ち、常に産業界の必要とされている人材育成に熱意を持って取り組み、カリキュラムの見直しを毎年行っている。姉妹校の東洋きもの専門学校と合同で行う学生主体のファッションショーは、和魂洋才の精神を外部の方々を感じていただけるように取り組んでいる。

学生の将来目指す仕事に必要な技術や知識を、その目的に合わせて柔軟に科目を選択できる単位制を採用している。担任が常に学生各自の単位取得状況を把握し、進級、卒業に不足がないようにカウンセリングを行っている。親切で丁寧な指導が特色である。

点検中項目【1-3】	学校の将来構想を抱いているか
------------	----------------

平成27年度よりファッション科ファッションクリエイターコースとファッション専攻科ファッションビジネスコースの職業実践専門課程への認可に向けた取り組みを行う。平成27年後期より各コースの企業との取り組みを行い、在校生を研修に参加させる。また平成27年度中に学校評価協議委員会を立ち上げ、学校運営全般の見直しと改良を行う。また教員の技術力強化のための研修または企業見学を行い次年度のカリキュラムに生かす取り組みを実施する。週3日必修科目、週2日を選択科目というカリキュラムを見直し平成28年度より週5日制とし、技術力の向上を目指す。次年度は教育編成課程委員会を立ち上げ、教科内容や実習などの見直しを行う。

基準2 学校運営

点検中項目【2-4】	運営方針は定められているか
------------	---------------

理事会で決定・承認された運営方針の元、学校運営の具体策が決定される。4月に学校運営の方針が決定し、それに基づき年間目標と運営方法を設定する。それを各教員に伝え、各自の年間の目標と具体策を申告して、達成するように運営している。校務分掌表を作成し、それに伴い各部署により業務を適切にこなしている。

点検中項目【2-5】	事業計画は定められているか。
------------	----------------

例年3月に行われる理事会において、翌年度の事業計画案が理事、評議員に開示され、討議の上承認されている。事業計画案作成については、教育現場の声、経営環境などを踏まえ様々な角度から十分に討議されている。

点検中項目【2-6】	運営組織や意志決定機能は、効率的なものになっているか
------------	----------------------------

明確で効率的な組織体制をとっている。運営組織については、理事会をトップとし、職員会議がある。更に校務分掌表に基づき、教務部、庶務部、就職部、管理部、総務部、事務局、広報部、情報管理部等それぞれのトップが、決定された方針を各部署に伝達し徹底する組織となっている。

点検中項目【2-7】	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか
------------	--------------------------

人事評価制度は、社労士の指導の下、確立されている。各教職員は自己目標を数値化して策定し、その目標に対する達成度を中心に前期終了時と年度終了時に自己評価を提出し、人事評価制度の元で教職員の評価を行っている。平成25年4月から定年を65歳にまで延長するシステムを採用し、年金支給年齢の引き上げに対応出来る制度を確立した。

点検中項目【2-8】	意志決定システムは確率されているか
------------	-------------------

校務分掌表に則り、報告・連絡・相談ができる体制となっている。教育現場での企画・立案に関しては、ファッション会で検討し、副校長補がまとめ、校長に上げている。そこで承認を受けた案件を職員会議や朝礼で周知徹底を図り、各教員が実行している。日常の業務のほとんどは、教員から副校長補が校長に上げる流れで行っている。

点検中項目【2-9】	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
------------	---------------------------

業務を遂行する基幹システムとして、ポータルサイトでは、グループ内の連絡、施設使用予約、スケジュールなどが共有され、効率的に運用されている。Webブラウザを利用したネットワーク承認システム(X-point)で、稟議申請、出張申請、休暇申請、購入問い合わせ、修理依頼などを学園本部を通して承認されていくことで適確でスピーディーな情報の共有が行われている。サーバースペースに基幹システムやファイルサーバーを設置しており、常にバックアップを実行している。情報が損失しないよう、被害を最小限にとどめる仕組みをとっている。

基準3 教育活動

点検中項目【3-10】	各学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界のニーズに向けて正しく方向づけられているか
-------------	--

各学科の教育目標、人材育成像に関しては、教務部が中心となってファッション会を行い、その素案を作成する。ファッションクリエイターコース、ファッションビジネスコースの各教員が、それぞれの業界の現状を調査、分析しニーズを提案する。その案に基づいて検討を行い、カリキュラムについて話し合う。常にアパレル業界に必要な人材が育成できるように毎年度カリキュラムの見直しを行っている。

点検中項目【3-11】	各学科の教育目標、人材育成像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか
-------------	---

ファッションクリエイターコースが3年制、ファッションビジネスコースが2年制という構成となっており、その在学期間でプロとして身につけるべき基本的な技術、知識が達成できるカリキュラムとなっている。初年度は両コースとも共通して服飾技術と知識の基礎を修学し、2年時以降はそれぞれのコースに合わせた内容を習得できるようになっている。

点検中項目【3-12】	カリキュラムは体系的に編成されているか
-------------	---------------------

1年次は服飾技術と知識の基礎を、2年次からはそれぞれのコースの専門教育に充てており、将来の職種に合わせた内容をしっかり学習することができる。また選択科目では、それぞれの目的や適正、希望に合わせたことを学ぶことができる。カリキュラムは毎年見直し、適正な科目設定と時間配分を行うように検討している。指導計画表の実施報告を提出してもらい、年度末に指導の反省と見直しを行い、カリキュラム会議において次年度の計画を実施している。指導の計画は、年度の最初に各教員から学生に伝えている。

点検中項目【3-13】	学科の各科目は、カリキュラムの中で適切な位置づけをされているか
-------------	---------------------------------

各コースの教育目標や就職先企業のニーズに合わせた上で科目を見直し、カリキュラムを構築している。それにより、学生の自己目標の実現や社会に踏み出す人間力を向上できるように必要な科目を設定している。年度末にはカリキュラムを見直し、必要に応じて科目を入れ替えたり単位数を調整し、学生にとって有意義な科目構成になるよう努めている。

点検中項目【3-14】	授業評価の実施体制はあるか
-------------	---------------

学年別、科目別に「学生授業アンケート」を実施し、そのアンケート結果を集計、分析し、次年度のカリキュラム編成、授業内容の改善などに役立てている。評価方法は、科目ごとに、学生自身の取組み度、理解度、満足度の評価について、5段階評価をしたうえで、自由に記述する覧も設け記入してもらう方式である。個々の授業科目ごとに集計を出し、この結果をふまえたうえで、教員同士で問題点を話し合う。特に理解度や満足度が低い(わかりにくい。満足したとは思わない。)授業科目については、問題点を分析し、その改善案を教務部が中心になり検討し、学校長に上げていく。講師が担当する科目では、アンケート結果を踏まえ、分析結果と学校側の判断を伝えてヒアリングし、改善案を話あっている。アンケートだけでは客観的なデータ収集に限界があるので、所属長がそれらを総合的に判断し、人事評価表を作成し上にあげている。

基準3 教育活動

点検中項目【3-15】	育成目標に向けて授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
-------------	-------------------------------------

教員の採用にあたっては、外部講師も含め、各コースに合った業界で活躍していた人材と、各科目の教育方法に精通したベテランの人物を採用している。専任教員に関しては、新任教員研修会等に積極的に参加させ、専門的な内容の指導だけではなく、教員としての資質を磨いていくよう義務付けている。教員は常に自己研鑽に努めるとともに、担当科目の指導に必要な知識や技術、指導力等の向上に取り組まなければいけない。一例として、パターンを担当する教員を対象に関西ファッションコンソーシアム主催の研修に参加している。また、年2回程教員研修会を行い、授業の改善点(学生の理解度が向上する指導方法を中心として)や反省点を話し合い、資料としてまとめ、より良い授業となるよう取り組んでいる。

点検中項目【3-16】	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
-------------	------------------------

教務部が中心となって、「学生必携」を毎年作成し、年度始めに全校生に配付している。オリエンテーションの時間を設け、教務部から履修科目、成績評価と単位修得、追試と追認試験、授業の出席等についてくわしく説明している。成績評価については、5段階評価とし、1(35点未満)の科目は追認試験対象になる。各科目とも試験において追試験が35点未満の場合、課題提出作品数が不足している場合、出席時間数が90%以上ではない場合の3項目の一つでも条件にかかる場合は1となる。追認科目数が多く、欠席時数が多い対象者に対しては、判定会議の審議を経て補習等を行い、提出物をすべて完成させて提出させる指導を行っている。しかし審議の結果では進級、卒業ができないこともある。

点検中項目【3-17】	資格取得の指導体制はあるか
-------------	---------------

日本ファッション教育振興協会主催「パターンメイキング技術検定試験」「ファッションビジネス能力検定」「ファッション販売能力検定」、公益社団法人色彩検定協会主催「色彩検定」等の資格取得の指導体制は、カリキュラムに組み入れ、試験直前に特別講習や模擬試験などを空き時間や放課後を利用して行い、資格取得ができるように実施している。例えば、クリエイターコースの学生には、「パターンメイキング技術検定試験」を2年生で3級(初級レベル)、3年生で2級(中級レベル)取得することを目標にしている。このため夏期休暇中に2日間の特別対策授業を実施し、制限時間内に実技課題を完成させるための対策実習の授業を行い、受験者全員の合格を目指して取り組んでいる。平成26年度は、2級、3級共に受験者全員が取得。ビジネスコースの学生には、認知度や実用性を考慮し、日本商工会議所主催「販売士検定」3級の検定対策講座を選択科目の授業として実施している。

点検中項目【3-18】	地域社会との連携や地域性を生かした教育活動が行われているか
-------------	-------------------------------

地域社会との連携や地域性を活かした教育活動は、大阪マラソンクリーンUP作戦に協力し、10月後半に日時を決め学校周辺から最寄り駅までの道路清掃を実施している。また旭警察署からの依頼で、自転車の防犯用かごカバーやヘルメットカバーのデザインの提案を行い、高齢者のヘルメット着用の普及啓発に協力した。千林商店街のイベント(ハロウィンのパレード等)にも積極的に協力している。今後も近隣の協会や団体とは、服飾関連の案件等に関して協議しながら取り組んでいきたいと考えている。

基準4 教育成果

点検中項目【4-19】	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか
-------------	-------------------------------------

進路指導担当者と卒業クラスの担任が連携し、就職相談・ガイダンスを通して就職活動をサポートしている。就職する学年の前学年の2月に職業能力適正テストを受けさせ、卒業学年の5月に、その結果を元に所属長と進路担当で個別に就職ガイダンスを行っている。企業見学やインターンシップを通じて、明確な将来のビジョンがイメージでき、就職につながるような体制を構築している。ファッションビジネスコースは、1年次においてインターンシップによる「販売実習」が定着しており、その後も経験を継続するためアルバイトで接客業務を続け、就職に結び付けていく学生が多い。クリエイターコースは、製作途中の商品を扱う業務はほとんどないので、企画立案とプレゼンテーションでプロの方のご意見、ご指導をいただくなど、現場見学等を実施している。授業と内容を調整しながら、関西ファッション連合に加盟する企業とのコラボレーションにも取り組んでいる。こうした経験を踏まえる事で、学生の就職に対する取組みも向上している。今後も在籍中に職場体験やインターンシップを受け入れていただける企業を開拓していく予定。

平成26年度 就職状況は下記の通り 卒業者4名 就職希望者3名 就職者3名 100%

就職する学年の前学年の2月より就職対策授業として「ビジネスマナー」を行っている。この講師には、新人研修やビジネスマナー研修を担当する専門家を採用し、自己分析から礼儀、言葉使い、模擬面接や履歴書・エントリーシートの記入の仕方等を実施している。もちろん就職担当者も各自の活動前には、個別にチェックして必要があれば指導を徹底している。

点検中項目【4-20】	資格取得率の向上は図られているか
-------------	------------------

「パターンメイキング技術検定試験」「ファッションビジネス能力検定」「ファッション販売能力検定」、「色彩検定」等の資格取得の向上のため、必須科目や選択科目の講座として取り入れ、模擬試験なども試験直前に行っている。例えば、クリエイターコースの学生には、「パターンメイキング技術検定試験」を2年生で3級(初級レベル)、3年生で2級(中級レベル)取得することを目標にしている。このため夏期休暇中に2日間の特別対策授業を実施し、制限時間内に実技課題を完成させるための対策実習の授業を行い、受験者全員の合格を目指して取り組んでいる。ビジネスコースの学生には、日本商工会議所主催「販売士検定」3級の検定対策講座を選択科目の授業として実施している。

点検中項目【4-21】	退学率の低減が図られているか
-------------	----------------

入学者全員をしっかりと卒業まで指導し、希望者全員を就職させる方針で、親切で丁寧な対応を教員全員が心掛けている。平成26年度は退学者はなし。この状態を継続していきたいと考えている。担任制を採用しているため、学生の異常や変化に気付いた場合、すぐ上に報告し、迅速に対応するような体制を取っている。欠席が続いたり、相談事が合った時は、まず担任が学生と面談し、場合によっては保護者にも連絡。早い時期に有効な対策を講じる。所属長や校長にも報告し情報を共有して問題解決に当たる。経済的な理由でアルバイト中心の生活になり、課題が消化できずに欠席が続くという悪循環に陥る学生の場合、学業を全うする必要性を説き、アルバイトの見直しや奨学金などの増額など、学校を続けていく方法を模索できるようにヒアリングをおこなっている。

点検中項目【4-22】	卒業生・在学生の社会的な活躍、評価を把握しているか
-------------	---------------------------

卒業生や在校生の社会的な評価や活躍の把握に関しては、専門学校が教育目的が職業人を育成することであるため、教育の成果として対応している。連絡先が明確な卒業生には定期的に連絡をとり、仕事のやりがいや成果、役職などの情報を把握し、ブログやホームページ、パンフレットなどで報告するようにしている。学生の社会的な活躍が支援できるような仕組みを今後は創っていきたいと考えている。

基準5 学生支援

点検中項目【5-23】	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか
-------------	-------------------------------

就職・進学指導に関しては体制を整備し、有効に機能している。就職指導に関しては、担任と進路指導担当者が学生と面談を重ね、副校長補と進路指導担当者が適時カウンセリングを行っている。希望者は全員就職させることを念頭に取り組んでいる。本人の希望を聞いたうえで、適正を配慮し、求人いただいた企業とのマッチングを行っている。また、就職を最後まであきらめさせないよう指導している。入学後、卒業迄のおおまかなスケジュールを学生に伝え、就職活動に対するリアルなイメージを意識づけ、夏期休暇を利用してインターンシップなどに参加させている。就職学年の前学年の2月から「ビジネスマナー」の授業や企業研究などで、実際の取り組みを始め、求人サイトや希望企業にエントリーをさせたり、エントリーシートの書き方の指導などを実施している。作品提出や実技試験がある企業を受ける学生にも、早い時期から取り組ませて個別に指導している。関西では、デザイナー、企画職の採用が少ないため、製作技術を活かせる職場として、縫製関連の企業の開拓も進めている。

点検中項目【5-24】	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか
-------------	----------------------------

担任制を採っているので、学生の日々の状況を把握し、常にコミュニケーションを行うようにしている。何か相談事があれば、まず担任が個別面談を実施し、対応できない場合は副校長補に報告し、早期の段階で同席のもと再度面談を実施し、校長と情報を共有する体制をとっている。また教員全体で解決できる問題の場合、朝礼等で情報を共有し、学生にとってより良い方向に進むように相談し対応している。

点検中項目【5-25】	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか
-------------	------------------------------------

日本学生支援機構の奨学金の説明会を入学直後に行い、希望者を募っている。担当者から必要な書類の提出やデータの入力方法の説明など指導し、適切な金額を貸与してもらうようアドバイスしている。その他、国の教育ローンの制度等告知している。また、授業料の未納者については、保護者に連絡をとり、分納などの方法を提案するなどして納入できるように努めている。

点検中項目【5-26】	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか
-------------	------------------------------

毎年4月初旬に、全学生と教職員を対象に健康診断を実施している。結果記録を保管管理し、何かあれば個別に対応している。担任が常に学生の健康状態を把握し、体調不良者への対応、指導を行っている。教員は、AEDの取り扱いの講習指導を受講し、緊急時にはすぐに外部へ連絡する対応を心掛けている。

点検中項目【5-27】	課外活動に対する支援体制が整備され、有効に機能しているか
-------------	------------------------------

学生主体の課外活動はないが、校外研修や芸術鑑賞、課外での実習活動などの場合は、できるだけ担任教員等が引率し、事故などがないよう対応している。また、学生全員が災害傷害保険(通学特約有り)、インターンシップ活動賠償責任保険に加入している。

点検中項目【5-28】	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
-------------	--------------------------

本学園が運営する学生マンションがある。本校から徒歩10分にあり、安価。希望者が利用している。

基準5 学生支援

点検中項目【5-29】	保護者と適切に連携しているか
-------------	----------------

教育活動を円滑に進めるに当たり、保護者の理解や支援が必要である。現状では以下の取り組みを行っている。

- ①入学式後、保護者を含めた新入生茶話会の実施。保護者とは個別に教育内容や就職に関して話す機会を設ける。
- ②学生の成果発表の場である東洋コレクションへの保護者の来場の呼び掛け。
- ③体験セミナーでの保護者との個別面談において、教育方針や本校の内容、就職実績、学費についてなどを説明。

点検中項目【5-30】	卒業生への支援体制はあるか
-------------	---------------

本校と姉妹校である東洋きもの専門学校^{（注）}の卒業生は、卒業と同時に、「東洋学園すみれ会」の会員となる。同窓会の事務局を学内に設置し、同窓会の各役員（会長、副会長、理事など）は両校の卒業生が努める。5年に一度すみれ会総会と懇親会をおこなっている。平成26年2月1日（土）、第6回総会を挙行。できるだけ卒業生の現状を把握し、既卒者への企業からの求人がある場合、進路指導担当者から呼び掛けている。

点検中項目【5-31】	留学支援や海外との連携による国際教育交流の体制があるか
-------------	-----------------------------

現在は行っていない。

基準6 教育環境

点検中項目【6-32】	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
-------------	----------------------------------

学生が作品製作や課題の作成に専念できるように設備の見直しや改善を行っている。現在教育機器に関しては、必要台数分が保持、機能されており、教育活動上問題なく対応できている。また今年度は女子トイレの改装を行い、女子トイレに洋式便器の個室と明るく清潔な洗面台を設置し、快適な空間になるようにした。以前からある染色工房も、ファサードの塗装工事を行い、入口と階段の木製デッキ部分をすべて新しく取り替え、学生の安全性を向上させた。

点検中項目【6-33】	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制が整備されているか
-------------	---

◆校外研修と芸術鑑賞

毎年、全員参加の校外研修を2回(5月と2月)と、芸術鑑賞(観劇)を1回以上実施している。平成27年度は、5月に京都国立博物館「桃山時代の狩野派-永徳の後継者達-展」への校外研修、6月に宝塚歌劇団「アイーダ」鑑劇、12月に劇壇四季「クレージーフォーユー」観劇をおこなう。2月にエキスポシティと国立民俗学博物館へ校外研修に行く予定。

◆インターンシップ

平成27年度 ファッションビジネスコース1年生 1名 GAP Japan での販売研修(8月の10日間)
ファッションクリエイターコース3年生 2名 (株)ビッグママでの縫製現場体験
ファッションクリエイターコース3年生 2名 (株)フォルムアイでの縫製現場体験

点検中項目【6-34】	防災に対する体制が整備されているか
-------------	-------------------

年に一度は教職員と学生を対象に防災対策訓練を実施している。緊急時の放送や対応、避難経路の確認などを行う。消防署の方から避難誘導灯のチェックや消火器の点検などがあり、総務部の指導のもと不備がないように対応している(H27年度も11月に設備の点検を実施)。役割分担や対応策を書面にし、教員や学生に配付している。

基準7 学生の募集と受け入れ

点検中項目【7-35】	学生募集活動は適正に行われているか
-------------	-------------------

学校のパンフレットやチラシなどの印刷物、ホームページでは、学校の教育内容やコース紹介、就職について等、客観的かつ正確に記載しており、誇張した表現などはない。現状の様子をそのまま伝えるように、広報部とチェックし制作している。入学前のオープンキャンパス(体験セミナー)や見学会においても、入学希望者や保護者に対し、わかりやすく納得がいくまで現状の様子と特徴(少人数で快適に実習がしやすく、親切で丁寧な指導をおこなっていることや希望者全員を就職させる指導体制を取っていることなど)を真摯に伝えている。また、教員が出身校を中心に高校訪問を行い、進路指導の先生方に卒業生の現状や本校のコースの説明や特徴を伝え、教育活動にご理解をいただくよう取り組んでいる。

点検中項目【7-36】	学生募集において教育成果は正確に伝えられているか
-------------	--------------------------

検定の合格率や外部のコンテストの入賞者、就職状況など、入学希望者の参考となるよう事実を正確に伝えている。ホームページ上でも、リアルタイムで学内情報を伝えるように広報部と連動しながら行っている。また日々の活動は、ブログを通じて確認出来るように取り組んでいる。

点検中項目【7-37】	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか
-------------	----------------------------

入学選考は、AO入学、推薦入学、一般入学と若干選考方法が異なるが、各選考基準を順守し、実施している。基本的には、個別面接と調査書により判断する。本人のファッションに対する熱意と意欲を重視している。特にAO入学に関しては、本人の本校での学習に対する意欲が必要なので、オープンキャンパス(体験セミナー)への参加が必須で、その取り組む姿勢を重視している。

点検中項目【7-38】	学納金は妥当なものとなっているか
-------------	------------------

本学園の収支状況を鑑み、他の服飾系専門学校の学納金等と比較検討し、物価状況なども考慮に入れ、基本案を提出し、それを理事会で検討の上で決定している。平成28年度は、選択科目の見直しで週5日必須授業に戻す為、学納金の見直しを行い、授業料と教育充実維持費を改定した。

基準8 財務

点検中項目【8-39】	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
-------------	--------------------------

東洋学園グループ全体の財務状況は安定かつ良好である。在校生数の変動はあるが、人件費、教育経費、管理経費のいずれも予算に従って適切に運用されており、財務的な不安はない。しかし、本校だけに限って言えば、学生数の大幅な減少のため、かなり厳しい状況であり、今後在校生数を増やす活動に予算をシフトし、また節約していけることを徹底的に進めていく方針である。学生募集活動の強化と、教育活動の向上を図り、入学生を増加させていきたい。

点検中項目【8-40】	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか
-------------	--------------------------

4月に予算委員会を行い、収支の概算、経費等の予測を基に予算を策定している。教育機器の修理や変更、新規購入に関しては、細かく査定し無駄のないよう対応している。校舎の老朽化に伴う大型改修や大型設備の導入などの案件は、理事会で調査、分析、審議を行い、必要性が認められれば投資を行う。平成27年度は、女子トイレの改装(洋式便器の導入や洗面台の改装)や染色工房の木製デッキの改修とファサード部分の塗装工事をおこなった。

点検中項目【8-41】	財務について会計監査が適切に行われているか
-------------	-----------------------

会計監査契約をしている監査法人事務所から公認会計士が来校し、毎年1回会計監査を実施している。日常の会計処理に関しては、東洋学園グループの各事務担当者が処理した情報を本部経理部と監査法人がチェックし、会計処理、税務申告を適正に行っている。学校法人東洋学園監事による監査に加え、本部の事務局長等、財務・経理部部長による内部監査を実施している。

点検中項目【8-42】	財務情報公開の体制整備はできているか
-------------	--------------------

平成26年度の決算について、監事監査を経て平成27年5月29日に理事会で審議・承認された。財務情報公開は、東洋学園グループ全体としてホームページ上に開示している。

基準9 法令等の遵守

点検中項目【9-43】	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
-------------	---------------------------

学校教育法、専修学校設置基準などの関係法令、ならびに労働基準法に基づく就業規則に則った上で、適正な運営に努めている。法令順守に関して、教職員には、職員会議、朝礼などにおいて周知徹底を行い、学生には、入学後のオリエンテーションや終礼時に、様々なルールを守るよう指導している。また最近では違法ドラッグなどの問題など啓発ポスターが各関係団体より送付されてくるので、目に就く場所に掲示している。

学生および教職員の個人情報管理については、外部への漏えいなどないように対応している。成績表の取り扱いに関しては、入学時に保護者と本人に向けて取り扱いの説明を書面で行っている。また教職員に対しては、朝礼などで、管理の徹底を伝えている。

教職員には、個人情報の外部への持出し（データだけではなく印刷物も含めて）を禁じている。学籍簿や出席簿などの記録も保管期間まで、持出し禁止にしている。保管期間を過ぎた書類に関しても、適正な方法で処分することを定めている。現在まで外部への情報漏えいの事故は起きていない。

学内の情報管理は、学内の専用サーバーで管理し、セキュリティにも細心の注意を払っている。基本的にハードディスク上に教務、事務局、広報などの個人情報は置いたままにせず、別メディアへの保存を行っている。

点検中項目【9-44】	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
-------------	----------------------------

資料請求者、入学志願者、在校生、卒業生、教職員その他関係者の個人情報保護に努めている。コンピュータの情報やシステムの管理には、本部の情報管理部が構築し、セキュリティ対策などのアドバイスを受けている。個人情報を外から得る場合、個人情報の取り扱い、保護、目的などを掲載し、厳重に管理し対応している。

点検中項目【9-45】	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
-------------	----------------------------

毎年各科目の授業評価を担当教員と学生に実施していたが、平成26年度までホームページ上では公表していなかった。平成27年度より自己評価・自己点検の実施を行い、保護者、卒業生や就職先企業、高校などに公表し、意見を求め、問題点を改善していくよう努めている。具体的には、平成27年度内に「学校関係者評価委員会」を設置し、自己評価を開示し、意見を求め、改善点に取り組む方策を議論し、自己評価報告書としてまとめ、ホームページ上に公開する。

点検中項目【9-46】	自己点検・自己評価結果の公開をしているか
-------------	----------------------

平成27年度の自己評価結果をホームページ(学校関係者評価委員会覧)に掲載し、一般公開していく。

基準10 社会貢献

点検中項目【10-45】	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか
--------------	----------------------------

学校の施設等を活用した教育機関、企業・団体、地域との交流は現在行っていない。生涯学習・附帯教育事業に関しても、現在行っていない。外国の学生との交流も行っていない。

点検中項目【10-46】	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
--------------	------------------------

毎年、大阪マラソンに伴い行われるクリーンUP作戦(主催:大阪市、共催:大阪マラソン組織委員会)に参加し、学校から最寄りの駅近くまでの周辺道路の清掃を行っている。学生が個人的に行っているボランティアに関しては、特に学校から援助や支援は行っていない。